

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

【株式会社】

■ 1. 法人の概要

法人名称	株式会社北上オフィスプラザ	担当部課名	商工部工業振興課
代表者名	代表取締役社長 斎藤 伸	設立年月日	平成6年4月15日
所在地	北上市相去町山田2-18	電話番号	0197-71-2171
設立目的	北上産業業務団地への業務管理機能や研究開発機能の誘致、また、当該団地への企業立地および周辺地域企業の業務活動や研究開発活動に対する支援事業を実施することにより、北上中部地方拠点地域産業の高度化を図ることを目的として設立。		
事業内容	○業務支援(公的産業支援機関の誘致、既存企業等による新規事業開拓や研究開発、営業拠点等開設のためのオフィスの提供と業務支援サービスの実施) ○起業家育成事業(インキュベータ室やSOHO室の設置と起業家のための各種情報の提供等) ○研究開発支援事業(大学等研究機関の誘致、地域企業と大学等研究機関との共同研究開発などのコーディネート) ○交流促進事業(セミナールーム・カルチャー室の設置、地域企業等との交流や研修を目的とする講演会等の開催)		

■ 2. 設立の経緯と市の関与

設立の経緯と市の関与(設立時からこれまでの経緯)	○地域振興整備公団は、地方拠点法に基づいて北上産業業務団地を整備した。 ○(株)北上オフィスプラザは、この団地における産業業務活動を支援する中核的な役割を担って、同公団、岩手県、北上市のほか89社が出資して平成6年4月に設立され、北上オフィスプラザ施設は、平成11年4月に開業した。 ○市は、副市長が取締役として役員会に出席し、経営面や事業運営等に関して主導的に関与している。 ○また、平成24年2月に「北上市と株式会社北上オフィスプラザとの連携に関する協定書」を締結し、相互に密接な連携と対等な立場での協働を図り、第三セクターが持つまちづくりにおける役割と機能、持続可能で安定的な経営を目指していくこととしている。
--------------------------	---

■ 3. 資本金等の状況

資本金(基本財産)	1,791,000 千円	市出資額	400,000 千円	市出資割合	22.3 %
その他の主な出資者	出資者の名称		出資額	出資割合	
	①	独立行政法人 中小企業基盤整備機	600,000 千円	33.5 %	
	②	岩手県	300,000 千円	16.8 %	
	③		千円	0.0 %	
	④		千円	0.0 %	
	⑤		千円	0.0 %	

■ 4. 役職員の状況

役員数	常勤役員			非常勤役員			合計
	うち市OB	うち市派遣		うち市OB	うち市派遣		
	2	2		12	1	1	14 人
職員数	常勤職員			非常勤・臨時職員			合計
	うち市OB	うち市派遣		うち市OB	うち市派遣		
	3			1			4 人
役員の平均年齢		67.4 才		常勤職員の平均年齢		48.0 才	

■ 5. 情報公開の状況

情報公開規定の有無	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し	ホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し
情報開示の方法					
ホームページアドレス	http://www.kitakami.ne.jp				
ホームページでの経営状況等情報提供内容					
<input type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input type="checkbox"/> 事業報告	<input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表		

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

【株式会社】

単位:千円

■ 6. 財務状況

【損益計算書】	H23年度	H24年度	H25年度	備考
営業収益(売上高)	95,440	173,478	136,123	
営業費用	96,663	169,736	140,026	
売上原価	75,114	146,907	115,718	
販売費・一般管理費	21,549	22,829	24,308	
(うち減価償却費)	38,563	38,293	37,965	
営業損益	△ 1,222	3,741	△ 3,902	
営業外損益	4,745	6,926	6,603	
経常利益	3,522	10,668	2,701	
特別損益	△ 5,100	△ 2,135	5,324	
税引前当期利益	△ 1,577	8,532	8,025	
法人税等	1,004	1,591	1,543	
法人税等調整額				
当期利益	△ 2,581	6,940	6,481	
前期繰越利益				
当期末処分利益				
【貸借対照表】	H23年度	H24年度	H25年度	備考
資産合計	1,484,906	1,498,161	1,517,438	
負債合計	13,052	21,354	27,650	
長短期借入金				
純資産合計	1,471,853	1,476,807	1,489,788	
【財務指標】	H23年度	H24年度	H25年度	
流動比率 (流動資産÷流動負債)×100	1800.6%	1828.0%	1868.1%	
自己資本比率 (資本÷総資産)×100	99.1%	98.6%	97.0%	
借入金依存度 (長短期借入金÷総資産)×100	0.0%	0.0%	0.0%	
流動資産－流動負債	221,957千円	268,487千円	324,156千円	
総資本経常利益率 (経常利益÷総資産)×100	0.2%	0.7%	0.2%	
売上高営業利益率 (営業利益÷売上高)×100	-1.3%	2.2%	-2.9%	
売上高対販売費管理費比率 (販売費+管理費)÷売上高)×100	22.6%	13.2%	17.9%	
総資本回転率 (売上高÷総資産)×100	6.4%	11.6%	9.0%	
売上高人件費比率 (人件費÷売上高)×100	7.4%	4.3%	6.3%	

■ 7. 市の財政的関与の状況

単位:千円

項 目	H23年度	H24年度	H25年度	備考
補助金・交付金	2,635	2,351	0	
委託料	565	3,514	1,907	
出資金(追加額)	0	0	0	
その他(使用料等)	2,915	3,680	2,954	
合計	6,115	9,545	4,861	
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	
指定管理施設の名称	貸研究工場棟			

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

【株式会社】

■ 8. 職員研修の実施状況

研修の種類及び名称	当該年度の受講者数		
	H23年度	H24年度	H25年度
ジョブカード・キャリア・コンサルタント研修		1	

■ 9. 設立目的に沿った事業の実施に有効な資格の取得状況

資格の種類及び名称	当該年度末の有資格者数		
	H23年度	H24年度	H25年度
ジョブカード・キャリア・コンサルタント	1	1	1

■ 10. 事業の実績概要

事業名称	活動実績・成果
産業業務支援としてのオフィス提供事業	<p>北上オフィスプラザ施設(全体施設面積:2,524.02㎡)への全体入居率は、ほぼ横這いで推移し、平成25年度末で81.6%(前年度末83.4%)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的機関への提供分 483.58㎡(73.3%) 4件 ・起業家支援分(インキュベータ,SOHO) 229.16㎡(82.2%) 12件 ・賃貸オフィス分 1,393.48㎡(87.9%) 17件 計 2,106.22㎡(83.4%) 33件
北上市貸研究工場棟管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・入居状況-5室満室。 ・平成26年度から5ヶ年間(今回はH23~H25)、北上市から指定管理者としての指定を受けております。 ・入居者名 A-1、A-2棟:大村技研(株) B棟:(株)北上エレメック C棟:(株)ベスト D棟:岩手大学大学院
北上川流域地域産業活性化協議会事業	<p>企業立地促進法に基づいて平成19年度に発足した北上川流域地域産業活性化協議会(県南広域振興局、5市3町及び当該区域内の産業支援機関等(20団体)の運営に関し、当社は事務局を担当。県負担金により、自動車産業への参入に向け、自動車関連企業OBによる地場企業に対する指導及び助言を実施。</p>
研究開発事業①	<ul style="list-style-type: none"> ・事業名:戦略的基盤技術高度化支援事業(板鍛造プレスにおけるフランジ移動技術の構築と自動車用三次元形状プレス部品の開発) ・平成24年度から継続実施中

北上市出資法人等協働評価シート(基本情報確認用)

【株式会社】

研究開発事業②	<ul style="list-style-type: none"> ・事業名:いわて戦略的研究開発推進事業(電気防錆水加工用平面研削盤の開発と水加工技術の確立に関する実証研究) ・平成24年度から継続実施中
ビジネスマッチング・商品開発支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手福島ものづくり企業合同企画展に出展し、製造品展示と大阪の企業にプレゼンを実施 ・中小企業総合展 in 東京に出展
起業塾開催事業	北上市起業家支援事業の「ビジネスプランコンテスト」の応募者に起業塾を開催。受講者に対して、当該プランのブラッシュアップを実施
スマートコミュニティ導入促進事業	再生可能エネルギーを有効活用した北上市の「あじさい型スマートコミュニティ構想モデル事業」の計画策定に際して、市とエネルギー事業者と当社の連携の中で役割分担し、当社は、計画策定のための国補助による概念設計の業務委託契約事務を担当。この計画の中で、当社は平成26年度に自家消費用として20kwの太陽光発電事業を予定している。

■11. 市の施策との関係(これまでの活用効果及び今後の市の方針)

市の施策	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携・異業種間交流の促進 ・イノベーションの発掘・起業家育成 ・コーディネート機能の充実
これまでの活用効果	<ul style="list-style-type: none"> ・北上産業業務団地(オフィスアルカディア北上)の中核施設である北上オフィスプラザは、産業業務機能(企業の本社・事務所・研究所等)の拠点として当市の産業振興に寄与している。 ・北上オフィスプラザは、北上イノベーションパーク構想の拠点施設として、北上市基盤技術支援センターと合築しているほか、岩手大学金型研究センター、いわてデジタルエンジニア育成センター、北上高等職業訓練校、貸研究工場棟など、産学官と連携し、当該団地の進出企業をはじめ市内外の中小企業への支援事業を展開している。
現在の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当市へ進出する企業が多様化し業種や業態が複雑化してきている。このため、設立目的である研究開発機能の誘致、企業への研究活動支援などソフト事業の推進体制の再構築が課題である。 ・北上オフィスプラザも建設から15年が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいる。また、当初建設計画にあった第2期施設整備事業(その後経済環境の変化により一時凍結)の取り扱いに加え、オフィスプラザの改修計画を含めた中長期の経営計画の策定が急務となっている。
今後の市の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も当市の工業振興(産学官連携)の中核を担う組織として、関係機関と連携し事業展開を進めます。 ・中長期の経営計画の策定にあたっては、北上市オフィスプラザの主体性を尊重しつつ、当市の工業振興計画など各種産業振興施策との整合性を考慮し、策定を進めていただくよう働きかけて参ります。